

## 2 微生物係

微生物係は、保健所等行政機関からの依頼により、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）、食品衛生法等に基づき、赤痢菌、腸管出血性大腸菌等の腸管系病原菌、食中毒菌及び食品の収去検査における細菌等の検査並びに HIV、インフルエンザウイルス、ノロウイルス等のウイルス検査を行っている。また、国の厚生労働科学研究に参加するなど、微生物検査に係わる調査研究も行っている。なお、2014 年度に発生した食中毒は 3 事例（患者数 49 人）あり、原因物質別ではノロウイルス 2 事例、アニサキス 1 事例であった。

さらに、感染症発生動向調査事業としてウイルス検査を実施し流行株の検出状況や、市内の感染症の発生動向を週毎に当所ホームページに掲載し、市民、医療機関等へ情報提供するなど地方感染症情報センターとしての役割を担っている。

2014 年度における主な業務内容は次のとおりである。また、微生物検査の実施状況は表 1 のとおりである。

### 【業務内容】

#### (1) 細菌検査

##### ア 防疫検査

細菌の防疫検査は、赤痢、腸管出血性大腸菌等 3 類感染症発生届出に伴う患者及び接触者の便として 229 検体の検査依頼があった。

##### イ 食中毒菌検査

食中毒様症状を呈した患者の便及び関連施設の保存食等 113 検体、904 項目の検査依頼があった。

##### ウ 食品の収去検査

本市の収去計画に基づき、細菌検査 344 検体、1,169 項目の検査依頼があった。検査項目は食品衛生法の規格基準に基づく検査が主であった。

収去検査の実施状況については表 2 のとおりであった。

##### エ その他細菌検査

浴槽水等のレジオネラ属菌検査の依頼が 5 件あった。

##### オ 一般依頼検査

一般からは 1 件の検査依頼があった。

#### (2) ウイルス検査

##### ア 防疫検査

ウイルスの防疫検査は、インフルエンザ、麻しん、A 型肝炎、デング熱（疑）の患者 53 検体の検査依頼があった。

##### イ 食中毒検査

食中毒様症状を呈した患者の便及び関連施設の保存食等 123 検体、131 項目の検査依頼があった。

##### ウ 食品の収去検査

本市の収去計画に基づき、ウイルス検査 3 検体 3 項目の検査依頼があった。

##### エ HIV 抗体検査

各区保健センターに相談に訪れ、検査を希望した者 901 人の検査依頼があった。検査は、札幌市エイズ抗体検査実施要領に基づき、PA 法による一次検査（スクリーニング）を行った。

##### オ 一般依頼検査

一般からの検査依頼はなかった。

(3) 感染症発生動向調査事業（表3）

感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、市内 15 箇所の医療機関（小児科 10、内科 4、眼科 1 施設）から搬入された 303 検体について病原体ウイルスの検査を行った。

検査対象疾病はインフルエンザ、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、手足口病、流行性角結膜炎及び急性出血性結膜炎の 6 疾病とし、患者から採取した検体の検査を行った。

(4) 調査研究

感染症・病原体に関する調査研究

ア 結核菌の遺伝子型別について

イ ライム病及び回帰熱の検査について

ウ 札幌市における抗インフルエンザ薬耐性株のサーベイランス

エ 札幌市において検出されたエンテロウイルスの分子疫学的解析

表1 微生物検査実施状況

2014年度

区 分		検 体 数	項 目 数	
細 菌	防疫検査	229	229	
	食中毒検査 *1	113	904	
	収去検査 *2	344	1,169	
	結核菌検査 (VNTR)	128	128	
	その他細菌検査 (レジオネラ属菌検査)	5	5	
	一般依頼	1	1	
	合 計	820	2,436	
ウ イ ル ス	防疫検査	インフルエンザ	3	3
		麻しん	47	47
		その他	3	3
	食中毒検査 *1	123	131	
	収去検査 *2	3	3	
	その他ウイルス検査	-	-	
	HIV検査	901	1,802	
	一般依頼	-	-	
	感染症発生動向調査	小児科 (分離)	188	188
		内 科 (分離)	53	53
		眼 科 (分離)	62	62
合 計	1,383	2,292		
総 数	2,203	4,728		

\*1 食中毒検査のうち 113 件は細菌、ウイルス両方の検査を実施

\*2 収去検査のうち 3 件は細菌、ウイルス両方の検査を実施

表2 収去検査実施内訳

2014年度

食品の分類		微生物検査									
		検査検体数	検査項目数	細菌数	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌	腸炎ビブリオ (最確数を含む)	腸管出血性大腸菌 (O157)	ノロウイルス	その他
総数		344	1,172	247	273	176	164	29	180	3	100
内 訳	魚介類	25	75	25	22	-	-	22	-	3	3
	魚介類加工品	26	59	16	26	-	-	-	17	-	-
	肉卵類・その加工品	39	95	4	1	14	18	-	18	-	40
	冷凍食品	17	34	17	12	-	-	-	-	-	5
	穀類・その加工品	8	24	8	-	8	-	-	-	-	8
	野菜・果物・豆類・その加工品	27	62	8	15	8	-	-	19	-	12
	菓子類	45	180	45	45	45	45	-	-	-	-
	清涼飲料水	14	29	-	14	-	-	-	5	-	10
	氷雪	2	6	2	2	-	-	-	2	-	-
	缶詰・びん詰食品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳及び乳製品・その加工品	32	80	13	27	-	-	-	18	-	22
	アイスクリーム類・氷菓	8	16	8	8	-	-	-	-	-	-
その他の食品	101	512	101	101	101	101	7	101	-	-	

表3 感染症発生動向調査病原体検査状況

2014年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
小児科検体数	17	10	4	5	10	12	3	13	36	17	25	36	188
内科検体数	12	2	0	0	0	0	0	0	3	19	9	8	53
眼科検体数	7	4	3	10	4	4	8	3	6	7	3	3	62
計	36	16	7	15	14	16	11	16	45	43	37	47	303